

分野	砂防施設整備			事業番号	8	事業名	砂防(通常砂防)		
市町村名	大町市	ふりがな 箇所名	きたはらさわ 北原沢		ゆ 湯の海	事業年度 (完了年度は見込み)	H24 年度～	H30 年度	
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	砂防堰堤工 2基 1号砂防堰堤 H=7.5m L=88.0m 2号砂防堰堤 H=9.0m L=68.0m				H23年度事業進捗率	0.0 %		
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	0.0 %		
	H24年度実施内容	用地測量・用地買収 1式				用地補償費ベース	0.0 %		
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度まで	H24年度まで	平成25年度以降降残			
	事業費計(千円)	420,000	0	0	10,000	420,000			
財源内訳	国庫支出金	210,000	0	0	5,000	210,000			
	その他								
	県債	189,000	0	0	4,500	189,000			
	一般財源	21,000	0	0	500	21,000			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点	
	必要性 (30)	保全対象人家	10戸以上	1～9戸	0戸	B	10		
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし		8		
		保全対象に支援関係者関連施設があるか	重要施設有り	一般施設有り	なし		0		
		保全対象に避難所、避難経路があるか	あり	なし			2		
	小計						20		
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去20年に1回以上	災害履歴地	なし	A	5		
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小		5		
		防災計画上の位置づけ	あり	なし			5		
	小計						15		
	効率性 (15)	費用対効果(B/C)	B/C1.5以上	B/C1.0以上1.5未満	B/C1.0未満	A	10		
		早期発現度	5年未満	5年以上10年未満	10年以上		3		
		流域の総合調整(関連事業の有無を含む)	検討あり	検討なし			0		
	小計						13		
	緊急性 (25)	地質・地形の状況	地質が脆弱かつ地すべり地形	地質が脆弱	その他	B	5		
		植生の状況	無林地や倒木が多い	放置林	その他		3		
		平均渓床勾配	10度以上	2度以上10度未満	2度未満		5		
		土砂整備率	0%	0%より大50%未満	50%以上		1		
	小計						14		
	計画 熟度 (15)	地域からの要望	強い要望がある	それほど高くない	特に要望ない	A	7		
地元の協力		協力が得られる	概ね協力が得られる	現時点で得られていない	8				
小計						15			
費用対効果(B/C)		1.70	評価の合計			A	77		
事業周 辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	北原沢及び家の裏沢の氾濫区域には基幹集落センター、農業者トレーニングセンター(避難場所)、湯の海集会所、県道美麻八坂線、多くの人家が存在し、地元要望は以前から強い。土砂災害対策として砂防堰堤が整備されているが、既に満砂状態である。上流域には新たな地すべりブロックも確認されており、早期の対策が必要である。							
	地域からの要望経緯	地元より要望がある。							
	事業説明等の経緯	平成11年7月9日に最初の地元説明会、同11月1日に2度目の説明会。村道問題で地元折衝が中断したが、村道問題は平成18年度に解決。平成23年5月6日に美麻支所で地元説明会を開催、また、平成23年9月29日には県で説明会を開催し、事業の執行については了承を得ている。							
	環境・景観への配慮項目	特になし。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。							
特記事項	H17土砂災害防止法指定。								
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他				
部意見	当流域には、不安定な渓床堆積物が存在しており、保全対象まで沢出口が迫っているため次期降雨による土砂と流木の流出による保全対象への被害が懸念される。保全対象には、避難所、避難路が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。			政策評価課 意見	重要性が高い。				